

A. 《ライオン》(マキシ、アフリカシリーズ)
本作品は1968年制作の複製
本作品は1968-1980年頃に制作
B. 《本コノコウの動物園シリーズ》 製造 1956-1976年
C. 《タリコウ》(ユニークピース) 1982年
D. 《ブルドッグ/ケンネルシリーズ》 製造 1972-1987年
E. 《動物》(ユニークピース) 1980年
F. 《動物》(ユニークピース) 1980年代
© Lisa Larson / Alvaro Campo



LISA Seen and
Unseen
LARSON

リサ・ラーソン展

知られざる創造の世界—クラシックな名作とともに



2024.

06.08 SAT — 08.25 SUN

展覧会概要

リサ・ラーソンは、素朴で温かみのある、動物や人物をモチーフとした作品で知られるスウェーデンの陶芸家です。1931年スウェーデンに生まれたりサ・ラーソンは、同国のグスタフスベリ社に長くデザイナーとして勤め、世界中で親しまれる数多くのプロダクトを手掛けました。1980年にフリーのデザイナーとなって以降も幅広く活動し、惜しくも今年3月に亡くなるまで、自身の工房で楽しみながら制作に向き合っていました。

本展覧会は、「Seen and Unseen」をテーマに、リサ・ラーソンのこれまで知られてこなかった創作の側面に光を当て紹介するものです。

愛らしい動物のシリーズなどおなじみの名作に加え、学生時代の作品、プロダクトと並行して制作を続けていた一点物の作品（ユニークピース）、ガラスなど異素材を用いた作品、また、互いに影響を与えた、夫である画家グンナル・ラーソンの作品など約250点の作品を紹介します。陶芸家リサ・ラーソンの知られざる創造の世界をご覧ください。

展覧会情報

- 会場：岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーI
- 会期：2024年6月8日（土）～2024年8月25日（日）
- 休館日：月曜日（ただし、7月15日（月・祝）、8月12日（月・祝）は開館）、7月16日（火）、8月13日（火）
- 開館時間：10:00～18:00（入館は17:30まで）
- 主催：岐阜県現代陶芸美術館
- 共催：中日新聞社、東海テレビ放送、TOKAI RADIO
- 特別協力：リサ・ラーソン・デザインAB、リアン・デザイン・ミュージアム
- 後援：スウェーデン大使館
- 協力：フィンエアー、フィンエアーカーゴ
- 企画：株式会社アートインプレッション、株式会社松屋
- 企画協力：株式会社トンカチ
- 観覧料：一般1,000円（900円）、大学生800円（700円）、高校生以下無料

*（ ）内は20名以上の団体料金

*以下の手帳をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、
特定医療費（指定難病）受給者証

同時開催 | [ギャラリーII] やきもの いきもの | 令和4（2022）年度新収蔵品 2024/4/20 — 2024/6/30
[ギャラリーII] 東海の陶造形 | 令和5（2023）年度新収蔵品 2024/7/13 — 2024/9/29

見どころ

❖ 名作たちと知られざる一面 ❖

リサ・ラーソンは長い作家人生の中で、世界各地で愛されるプロダクトのシリーズをデザインしてきました。本展では、それらの一目見ただけで彼女のデザインと分かる、古典的名作ともいえるシリーズに加え、これまで多くの人を知る機会がなかった一点物の作品（ユニークピース）や初期の作品に光を当て、彼女の知られざる創作の一面をご紹介します。

❖ 初公開！「未知の動物たち」❖

リサ・ラーソンの動物というと、ライオン、ネコ、イヌなどの愛らしい姿がおなじみですが、彼女は他にも様々な動物からインスピレーションを得てきました。特に特殊な作品群として、彼女が1960年代末にグスタフスベリ社のアトリエでモデリングを開始し、その後も自宅で作り続けた空想上の動物のシリーズがあります。本展では、これら「未知の動物たち」を初めて公開いたします。

❖ 新しい素材への挑戦 ❖

リサ・ラーソンは陶芸家ですが、今日までさまざまな企業とコラボレーションして、異なる素材を用いて製品を作ってきました。すでにグスタフスベリ社でデザイナーとして働いていた頃から、リサ・ラーソンはフリーランス作家として他のデザイン会社とも仕事を始めていました。1970年代末、リサ・ラーソンはスカンディア・プレゼント社のために小さなブロンズ塑像のシリーズをデザインしました。この他、ロイヤル・クローナ社のガラス作品を展示します。

関連イベント

作家とみて・つくるワークショップ
「いろいろやきものいいかんじ」 * 要事前申込
* 定員 15名

講師：小平健一（陶芸家）
日時：7月20日（土）13:30～15:30、
8月17日（土）13:30～15:30（2回連続講座）
会場：岐阜県現代陶芸美術館
セラミックパーク MINO 作陶館
参加費：2000円（別途要観覧券）

季節のワークショップ
「動物型の蚊やりをつくろう」 * 要事前申込
* 定員 16名

講師：奥村潤子（造形作家）
日時：6月9日（日）13:30～15:30
会場：セラミックパーク MINO 作陶館
参加費：1500円

こどもむかデー

日時：7月27日（土）・28日（日）
この日の展示室はおしゃべりウェルカム！
また、一息ついていただける美術館内にキッズルーム
を設置します。小さなお子さんのご来館をお待ちして
います。

* 通常開館日の展示室内での会話を制限するものではありません。

ギャラリートーク * 事前申込不要

日時：6月16日（日）
7月14日（日）
8月11日（日）
各日 14:00～
参加費：無料 要観覧券（高校生無料）

展覧会紹介文サンプル

● 50 字版

これまで紹介される機会が少なかった一点物の作品など、リサ・ラーソンの魅力と出会う作品約 250 点を展示。

● 100 字版

陶芸家リサ・ラーソンのおなじみの名作に加え、これまで紹介される機会が少なかった一点物の作品や、ガラスやブロンズの異素材作品、スケッチなどの展示を通じて、リサ・ラーソンの創作世界を紹介いたします。

● 150 字版

スウェーデンを代表する陶芸家、リサ・ラーソン。彼女の代名詞といえる素朴でかわいらしい動物や静謐な人物像の作品に加え、これまで紹介される機会が少なかった一点物の作品や、ガラスやブロンズの異素材作品、スケッチなどの展示を通じて、リサ・ラーソンの創作世界を紹介いたします。

【お問い合わせ】

岐阜県現代陶芸美術館（展覧会担当：学芸部 林いづみ）

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5（セラミックパークMINO内）

TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101

HP: <https://www.cpm-gifu.jp/museum>

E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp



広報用写真申込書

読者プレゼントチケット（5組10名様分）を希望します。※希望される方はを入れてください。

『リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界—クラシックな名作とともに』の広報用写真(データ)を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、下記FAX番号またはメールアドレスまでお申し込みください。
ご希望の写真にを入れてください。



《ライオン(マキシ)/アフリカシリーズ》
本モデルは1968年から製造。
本作品は1968-1980年頃に製造
© Lisa Larson / Alvaro Campo



《陶芸家(ユニークピース)》
1950年代
© Lisa Larson / Alvaro Campo



《トリの器(ユニークピース)》
1982年
© Lisa Larson / Alvaro Campo



《ハリネズミ/危機に瀕した動物たちシリーズ》
製造1979年
© Lisa Larson / Alvaro Campo



《旧市街》
製造1963-1978年
© Lisa Larson / Alvaro Campo



《ネコ/小さな動物園シリーズ》
製造1956-1978年
© Lisa Larson / Alvaro Campo

FAX : 0572-28-3101

Mail : museum.1@cpm-gifu.jp

展覧会担当：林

写真データ貸出：野田・廣澤

貴社名 (ご担当者)

ご住所 〒

お電話 FAX

E-mail

掲載媒体名

題目 掲載予定日

備考

○写真・画像のご使用は本展覧会をご紹介いただける場合に限らせていただきます。

○使用される場合は、左記キャプション及びクレジットをご明記ください。

○デジタル画像は全てjpgです。ご送付の手段については原則としてメール送信（画像サイズは1点300～500KB程度）となります。

○大きなサイズの画像がご入用の場合は、担当までご連絡ください。

○ご掲載紙・誌を1部当館までご送付いただければ幸いです。

展覧会担当：林

写真データ貸出：野田・廣澤



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801
岐阜県多治見市東町4-2-5
TEL : 0572-28-3100
FAX : 0572-28-3101